

(NEWSは全国人権連本部ブログに掲載してあります)

住民の命と暮らし、安全・安心を確保する地域・自治体を

4月10日と24日に、いっせい地方選挙の投開票が東北3県内と茨城・水戸市議選を除いて行われます。3月24日付けで全国人権連事務局長談話が出されています(<http://zjr.sakura.ne.jp/?p=662>)。被災者・被災地支援の取り組みとともに、残された期間、全力をあげよう。

兵庫人権連西播地協 義援金10万円本部に振込

民権連長瀬支部 9万円「街かどディーや会員宅訪問で集めています」



4/7「全国災対共同支援センター」から被災地へボランティアバス出発

宮城・岩手に向かって出発。全労連会館1階ロビーで出発前集会。全労連の大黒議長は「厳しい状況の中だが、からだに気をつけて元気で頑張ってきてほしい」とあいさつしました。

浜岡原発は即時停止、エネルギー政策の転換を！

4月3日「さちを呼び元気を出そう文化と講演のつどい」が愛知県あま市内で開かれました。加藤哲生さん(全国人権連常任幹事・愛知地域人権連合理事長、あま市議)等の報告や、名古屋大学名誉教授の沢田昭二さんが「福島原発について考えよう」と題して講演(この内容は、5月15日号から本部版「地域と人権」に掲載する予定です)。沢田氏は3月29日付け「東京新聞」に「政府は安全繰り返すけど 内部被ばく 軽視する日本」でインタビューに応じています。

死者行方不明者2万7437人 8日 10時現在

東日本大震災後で最大の震度6強を観測した地震から一夜明けた8日、東北各県の被害状況が明らかとなり、山形県と宮城県で計3人が死亡、けが人は約140人に上った。東北地方では約304万戸が停電しており、東北電力が復旧に当たっている。気象庁は今後も最大で震度6強の余震の恐れがあるとして、警戒を呼び掛けた。

国内史上最大のM9.0を記録した東日本大震災では、気象庁が観測したM5以上の余震は396回(8日午前8時現在)で、400回に迫ろうとしている。過去10年に日本全体で起きたM5以上の地震は年平均120回程度で推移したが、大震災1カ月足らずで3年分を超えた。